

重要取組シート

取組項目	プレコンセプションケアの推進
現状・課題	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プレコンセプションケアは「性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザインや将来の健康を考えて健康管理を行う」概念である。 ○こども家庭庁は令和 7 年 5 月に「プレコンセプションケア推進 5 か年計画」を策定し、自治体においても計画的にプレコンセプションケアを推進することが求められている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本市では、これまでもプレコンセプションケアに資する事業に取り組んでいるが、全国的に低出生体重児の要因の一つとして妊婦のやせが指摘されており、若年層のヘルスリテラシー不足も課題である。さらに、基礎疾患を有する女性や出産年齢の上昇に伴い、周産期リスクの高い妊婦が増加している。これらの状況を踏まえ、従来の各局・区単位の個別施策に加え、本市全体としてプレコンセプションケアを効果的に推進する必要がある。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○プレコンセプションケアの概念を職員へ周知 国が開設しているプレコンサポーター養成講座を活用し、職員の知識深化を図る。 ○性や健康に関する相談支援の充実 大阪府市が実施する「おおさか性と健康の相談センター」事業に参画し、SNS 等を活用した相談体制の整備を行う。 ○性や健康に関する知識の普及および情報提供 特に青年期から成人期を対象としたプレコンセプションケアに関する啓発を、同センターと連携して実施する。 ○出産を望む方への経済的負担の軽減 生殖補助医療と併用可能な先進医療に要した費用の一部を助成する。助成額は、保険適用の生殖補助医療と併用して受けた先進医療に要した費用の 10 分の 7 とし、1 回の治療につき上限 5 万円、所得制限は設けない。助成回数は、保険適用の条件に準じる。 ○庁内連携の推進 施策の推進に当たっては、令和 8 年度からの新たな取組に加え、既存の関連事業も含めて一体的に情報発信を行うため、庁内関係部局と緊密に連携し、施策効果の最大化を図る。 ○市内外への情報発信 本事業のターゲット世代が転出入の多い世代と重複していることを踏まえ、人口流入等にも寄与するよう、事業を通じて本市の子育て環境の充実を市内外に向けて発信するためのコンテンツ活用を検討する。

スケジュール	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> 保健従事者の人材育成 ・プレコンサポーター養成講座の受講 (～5月) <input type="checkbox"/> 「おおさか性と健康の相談センター」事業への参画 (4月) <input type="checkbox"/> 各種相談事業の実施 (通年) ・プレコンセプションケア相談 (チャット・対面) ・不妊症・不育症相談 (電話・対面・オンライン・グループ) ・グリーフケア相談 (個別・グループ) <input type="checkbox"/> ホームページの開設 (4月) <input type="checkbox"/> 啓発媒体の検討開始 (5月～) <input type="checkbox"/> 不妊治療費助成事業の準備および開始 ・市民及び医療機関への制度周知 (4月～9月)	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> 小学校高学年から中学生向けセミナー開催 (7～8月) <input type="checkbox"/> 大学生向けセミナー開催 (10月) <input type="checkbox"/> 社会人向けセミナー開催 (12月) <input type="checkbox"/> 二十歳の集いで情報発信 (1月) <input type="checkbox"/> 大学連携 (秋)	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 庁内連携の拡充 <input type="checkbox"/> 新たな施策展開の方向性を検討	
進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
2030 堺市基本計画	該当する 施策	3- (1) 妊娠から青年期まで切れめのない子育て支援の充実	
	寄与する KPI	堺市は子育てしやすい都市だと思えた保護者の割合 [現状値：62.3% (2024年度)]	目標値 (2030年度) 73.0%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 3	すべての人に健康と福祉を
	寄与する KPI	—	目標値 (2030年度) —